



◆ すすめ! 「しらせ」

出港早々、「しらせ」は前後左右に激しく揺れ始めました。5~10秒周期くらいでしょうか。強く振動したりということはないのですが、ゆったりとゴンドラが動いているような感じです。歩行中も体が左右に振られます。たちまち船酔いに襲われる隊員が出ました。ただ、これも序の口とのこと。緯度が上がるにつれ、「吠える40°、狂う50°、叫ぶ60°」と言われ、これからますます揺れるようです。速度は約11ノット(約20km/h)、1日でおよそ500km進んでいます。この一週間が正念場です。私は、幸いにも今のところ大丈夫です。大量に持参した酔い止め薬のお世話にもなっていません。しかし、油断は禁物です。



2015.12.6.

ここで一句 「船酔も極限の地への試金石」

◆ 南極トリビア

隊員寝室の壁面に、写真のようなものがあります。ズバリ、これは何？

- ① 郵便ポスト ② ゴミ箱 ③ 洗濯物入れ
- ④ 緊急時吐瀉物容器 ⑤ スリッパ立て



◆ コンク・ウイスキー

「しらせ酒造」より、コンクウイスキーの配布がありました。「コンク」とは、Concentration、つまり「濃縮ウイスキー」のことです。極寒の地では、ウイスキーは寒さを抑える妙薬となります。第1次観測隊越冬隊長の西堀栄三郎が濃縮ウイスキーを持っていくよう指示しました。その伝統が、しらせ船上でのひとつの行事となっているようです。今年、ニッカウイスキーの「ニッカ鶴17年」が配布されました。ただし、一人500mLまで。瓶は、しらせボトルを購入するか、各自持参。飲みすぎないように、注意！

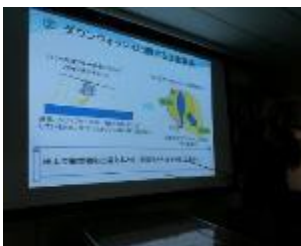


2015.12.7.

◆ 安全講習会

「しらせ」各担当部署自衛官より、安全講習会が催されました。①溺者救助・総員離艦、②飛行作業・航空機搭乗時の留意事項、③航空機救難用具及び航空火工品取扱法について、スライド説明や実地訓練を受けました。救命可能時間は、海水温10~15°Cで1時間、0°Cで15分が限界だそうです。海に落ちたら…と考えると、ぞつとします。また、「ヘリコプターは馬と同じ。後ろから近づくな」という言葉が印象に残りました。甲板上で、火工品「海上投下用2型」の使用訓練を行いました。橙煙を発生させ、上空からも視認しやすく工夫しています。

その後、明日(8日(火))から本格的に始まる海洋観測について、観測主任の高村隊員より、観測における安全留意点や各種海洋観測について説明がありました。明日より「しらせ」は、南緯40°を通過後、東経110°ラインに沿って真っすぐ南下します。その間、40°~60°まで、5°間隔で観測を実施します。



2015.12.7.

西高の皆さん、学期末考査お疲れさまでした。いよいよ、3年生はラストスパート。遙か南の見渡せば、360°海ばかりの船上より、「頑張れ〜!」と吠え、叫んでいます。

2015.12.7.